

ネイチャー・ウォーク

平成 24 年 月号
2012. . 発行
(通巻第 号)

ECO  SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

サクラソウの気になろう

～戸田公園から彩湖～

(JR 埼京線 戸田公園駅 ～ JR 武蔵野線 西浦和駅)

今回のネイチャーウォークは、荒川のサクラソウの過去と未来をめぐるコースです。当日は、45 名のみなさんにお集まりいただきました。あいにくの曇り空には負けずに出発です。



駅前の街中を過ぎると、荒川の堤防が見えてきます。「暴れ荒川」沿いの町ならではの史跡として、水神社があります。キュウリをお供えすると無事に川を渡れたとか。荒川の神様はやはりカッパの姿をしていたのでしょうか。

現在、荒川には数多くの橋が架けられています。江戸時代には江戸に攻め込まれるのを防ぐために、渡し船が活躍していたそうです。現在はボートが行き来していました。歴史に思いをはせながら、歩みを進めます。



堤防にはシロツメクサやカラスノエンドウ、カラスノエンドウより小さなスズメノエンドウなど、柔らかそうな緑の草が茂っています。みなさん童心に返って、四つ葉のクローバーを探したり、花のかんむりを作ったりしました。



ぽつりと雨が降ってきたので、昼食は「彩湖自然学習センター」におじゃましました。昼食後、外に出ると、空は何とか持ちこたえています。やや早足で出発です。



しばらく歩いて彩湖・道満グリーンパーク内「戸田ヶ原自然再生エリア」第1号地へ。

ここでは戸田の自然を知り尽くした埼玉県生態系保護協会 戸田・蕨支部長の石本さんに、標本やパネルを交えて周辺の自然についてご説明いただきました。ついさっきタヌキも姿を見せたそうです！

現在の戸田市周辺の荒川が氾濫してできた湿った原っぱは「戸田ヶ原」と呼ばれていました。戸田ヶ原には春になるとサクラソウが咲き乱れ、地元の人々はサクラソウのお花見に出かけたそうです。しかし、乱獲や開発によってサクラソウは数を減らし、ほとんど見られなくなってしまいました。

戸田ヶ原自然再生エリア第1号地では、サクラソウをシンボルとしてかつての湿地を取り戻す取り組みを始めています。

地元の方によって代々育てられていた戸田ヶ原産のサクラソウを増やし、2010年から植え戻しています。



2年前に市民によって植えられたサクラソウも花を咲かせていました。もう一度、サクラソウのお花見ができる日も近いことでしょう。



最後に、恒例の「walk 出現認定証」授与式を行いました。今回は1名が認定されました。いつもご参加ありがとうございます！

今回の歩行距離は約11kmでした。幸いなことに、ひどく雨に降られることもなく、歩ききることができました。みなさんお疲れ様でした。

<番外編>

戸田市周辺には、一年中見ることができる「サクラソウ」が沢山あります。お近くに行かれた際は探してみてくださいね。



<番外編2>

彩湖には様々な野鳥がやってきます。解散後、駅に向かう途中で夏の使者、オオルリ君と出会いました。「幸せの青い鳥」を見られた人はラッキーでした！

